

「多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究」について

研究責任者： 東京大学医科学研究所 分子療法分野
東條有伸

日本骨髄腫学会では、我が国における治療の現状とその成績を後方視的に解析し、各種治療法の有効性を明らかにするとともに、今後の治療戦略の確立に寄与することを目的として、多発性骨髄腫患者さんの治療の現状とその成績についての調査を多施設共同研究で行っています。東京大学医科学研究所附属病院も、当院の多発性骨髄腫患者さんのカルテ情報を提供し、この研究に協力することになりました。

カルテ情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

1. 研究の対象となる方

本研究は、下記の方を対象としております。

2013年1月1日から2016年12月31日の間に当院を受診した新規の多発性骨髄腫患者（原発性形質細胞性白血病を含む）の患者さん。

2. 研究に用いる情報の種類

カルテ情報： 診断名、生年月日、性別、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、骨髄検査、染色体検査所見、遺伝子検査所見）、治療法（治療レジメン、効果判定、有害事象）、転帰（生死、最終観察日、死因）等。

3. 個人情報の取り扱い

研究に利用する情報には研究用の番号がつけられて管理され、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は使いません。また、研究用の番号とあなたのお名前などを結び付ける対応表は当院の個人情報保護管理者が作成し、適切に管理、保管されます。研究成果が学会や学術雑誌で発表される場合も個人を直ちに判別できるような情報は公表されません。

4. 外部へ情報の提供

研究に利用する情報は、日本骨髄腫学会事務局に電子ファイルで提供され、保管されます。

5. 研究期間

観察期間： 診断日～2017年12月31日

研究期間： 2017年12月27日（所長許可日）～2018年12月31日

6. 研究組織

本研究は、当院を含む多施設共同研究として実施され、研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

本研究全体の研究責任者

群馬大学 大学院保健学研究科 生体情報検査科学講座 村上博和

研究代表者

袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター 名倉英一

研究事務局

日本骨髓腫学会 事務局

当院での研究責任者

東京大学医科学研究所 分子療法分野／附属病院血液腫瘍内科 東條有伸

当院での研究分担者

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科 今井陽一、安井 寛、横山和明、川俣豊隆、牧山純也

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者： 安井 寛 東京大学医科学研究所 先端ゲノム医療の基盤研究寄付研究部門

電話番号： 03-3443-8111（内線 72431）

住所： 東京都港区白金台 4-6-1